

山梨県初の総合学科高校、
夢をかなえる8系列。
好奇心旺盛な君、可能性をひろげたい君、
一緒に学んでみませんか？
私たちのこと、知ってほしくて作りました。
甲府城西高校の広報誌「**KJ**通信」です。



今号の主な内容

- ★ 夢を叶えるために努力した3年次生
- ★ 地元企業の企業説明会
- ★ キャリアビジョン講演会



甲府城西高校の今を伝える **KJ** 通信です。

受験体験記

放課後遅くまで残って学習してきた日々は一段落し、18期生は卒業後を見据えてそれぞれの準備を始めています。
夢の実現のために努力した3年次生の声を紹介します。

◆ 大嶋 愛乃（甲府南中学校出身） 都留文科大学 文学部初等教育学科

どうしても合格したいという強い気持ちを持ちながら、私は小論文に取り組みました。思い通りに書けない悔しさなどで逃げ出したいと思うこともありました。しかし、周りの友達の支えや先生方の日々のご指導のおかげで最後まで諦めることなく取り組んだ結果、合格することができたのだと思います。この体験を通して、自分の考えの幅を広げることができました。将来は生徒に慕われ頼られる教員になりたいと考えています。

◆ 飯野 景（敷島中学校出身） 日本体育大学 体育学部体育学科

「何だか面白そうだな。」という好奇心から始めたアーチェリーの競技歴は、早いもので六年間になります。大学でもアーチェリーを続けたいと思い、スポーツ推薦で受験をし、合格をいただくことができました。小論文や面接の練習は早めに始めましたが、部活動も続けてきました。合格をいただけたのは、部活動の成果だけではなく周囲の方々の支えがあったからだと思います。これからも感謝の心を忘れず成長していきたいです。

◆ 田邊 愛海（甲府北西中学校出身） 帝京山梨看護専門学校 看護学科

面接や小論文が苦手な私は本当に苦戦しました。自分の考えをわかりやすく表現することは難しいことです。先生方のアドバイスを実践し、自分でも工夫を重ね努力をしてきました。その結果、本番では緊張が自信へとつながり、自分の力を出し切ることができました。学校生活では文武両道と皆勤を心がけてきました。支えてくださった先生方や家族、友達に感謝をし、これからも頑張っていきたいです。

◆ 須藤 丈瑠（甲府西中学校出身） 東京エレクトロン山梨株式会社

私はエレクトロニクス系列に所属していました。「電子実習」という科目では細かい作業があるので、正確さと集中力が必要になります。なかでも、ハンダ付けは小さな基盤に細かい部品を取り付けるので、無事に作動すると心の底から嬉しくなります。相手に自分の意見をはっきりと伝えることが苦手な私でしたが、授業で培った集中力が入社試験に活かせたのだと思っています。入社後は責任感と向上心を持ち、応援してくださった方々の期待に応えられるように努めていきたいです。

◆ 佐藤 世和（大和中学校出身） 山梨県警察

私が警察官になりたいと思うようになったきっかけは、通学中に私自身が盗撮の被害に遭ったことです。その際、男性警察官から「本当は女性警察官に来てもらえればもっと話しやすかったよね。人手不足でごめんね。」という言葉をいただきました。私のように辛い体験をしている時に役に立てる女性警察官になりたいと思いました。危険を伴う仕事ではありますが、市民の皆様が安心して暮らせる安全な街づくりをしていきたいと思っています。

資格取得に頑張った3年次生

◆ 内藤 大輔（竜王中学校出身）

「機械実習」という授業で旋盤の実習に取り組みました。部品の組立表どおりの寸法で仕上げられると達成感で満たされます。毎時間の授業を大切にすることで、自分の予想以上の成果を残すことができます。技能士三級旋盤や技能士三級機械検査など、計6種類の検査に合格できました。わからないことがあった時は、先生や同じ目標に向けて取り組んでいる仲間に聞いて、自分が納得いくまで試行錯誤を繰り返してきました。部活動で忙しいなかでも、自分で時間を見つけだし、ひたすら練習をしました。日々の努力の積み重ねが大事なのだと思います。

◆ 小泉 愛璃（甲府北東中学校出身）

私は2年次から簿記を履修してきたので、難しくて大変な思いもしましたが、二年間の積み重ねにより学習を深めることができました。人と同じことをしていたのでは上級合格は果たせません。独学で早めに取り組み、何度も何度も繰り返す学習が必要です。簿記、ビジネス文書、電卓、情報処理、商業経済の五つの全商検定一級を取得し、五冠を達成することができました。この経験を通じて、諦めずに自分の意志を貫く姿勢を身に付けることができました。

◆ 中野 範子（甲府城南中学校出身）

私は家庭科を中心とした様々な検定に挑戦し、食物調理技術検定、被服製作技術検定〈洋服・和服〉の一級を取得することを目標に頑張ってきました。食物では、朝や放課後の時間帯に苦手なところやわからないところが少しでも克服できるように練習をしました。メニューも先生にアドバイスをいただき、時間内に献立通りに作るという練習を自宅でもしました。被服では、丁寧に早く縫うことを目標として頑張ってきました。このように試行錯誤を繰り返した結果、見事三冠を達成することができました。努力が報われ本当に嬉しいです。

◆ 大谷 萌恵子（櫛形中学校出身）

私は簿記、ビジネス文書、電卓、情報処理、商業経済といった商業科目の検定五つにおいて一級を取得し、五冠を達成することができました。なかでも簿記検定には特に力を入れてきました。難しい科目ですが、色々な問題に臨機応変に取り組むことが大切なので、応用力が身に付きます。苦手な問題には毎日取り組むことが大切です。また、友達同士で教え合うことも必要です。人に教えることで自分の理解を深めることができます。努力した分、結果につながるのが実感できました。卒業後は調理師になるために学び、やがては自分のお店を経営したいと思います。何事にも努力を惜しまず頑張りたいと思います。

◆ 高橋 悠斗（甲府西中学校出身）

私はエレクトロニクス系列に所属し、なるべく多くの資格を取得して、高校卒業後は就職しようと考えてきました。ソーラーカーを作製した時には本当に苦労しました。配線が正確にできないと太陽光を吸収することができません。粘り強く物と向き合う経験を通して、物作りの奥深さを痛感しました。授業に目標を持って臨むことで、日々目的が生まれます。第一種電気工事士をはじめ、計五つの国家資格を取得し、六つの検定に合格することができました。これらの資格や検定で得た技術や精神力を、これからは社会人として活用していきたいです。

■ 地元企業の企業説明会

12月13日(火)の放課後、地元の企業の方々による企業説明会を行いました。1, 2年次生約130名は真剣な表情で聞いていました。

各企業の特色や社会人として働くことの意味を熱心に説いてくださった各企業の方々のお話は、生徒たちの心に強く響きました。できることを自ら見つけ、最大限の力で取り組んでいくことがいかに大切なのかということに改めて気づかされました。



■ キャリアビジョン講演会

12月12日(月)にサッカーJ1リーグのFC東京監督で機山工業高校出身の篠田善之さんによる「克己～目標に向かって働くこと～」という演題の講演会が行われました。

夢を叶えるためには心の強さが必要であるということをご自身の体験をもとにお話してくださいました。

スペインに留学しサッカーの技術を高めたいという希望を持っている生徒や、高校生活をより充実させたいと思っている生徒から積極的に質問がありました。自分の決めた道を進んでいくためには覚悟が必要です。楽をしようとする自分の心に負けない芯の強さを培って欲しいという篠田さんの思いが強く伝わってきました。



information

- 卒業式 3月1日
- 後期期末試験 3月2日～9日
- 後期入学者選抜学力検査 3月7日
- 終業式 3月24日
- H29年度始業式 4月7日
- H29年度入学式 4月8日

KJ
通信

発行



We love Josai.

山梨県立甲府城西高等学校
〒400-0064
山梨県甲府市下飯田一丁目9-1
TEL 055-223-3101
FAX 055-223-3103
URL <http://www.josaih.kai.ed.jp/>
E-Mail: josaih@kai.ed.jp
発行日 平成29年2月28日